

グローバル化する経済、増加する財政赤字、少子高齢化の進展、所得格差社会、年金制度の崩壊…。多くの課題を抱える日本の、今後の税制のグランドデザインを提示する！

抜本的税制改革 と消費税

—— 経済成長を支える税制へ ——

中央大学法科大学院教授 森信茂樹 著

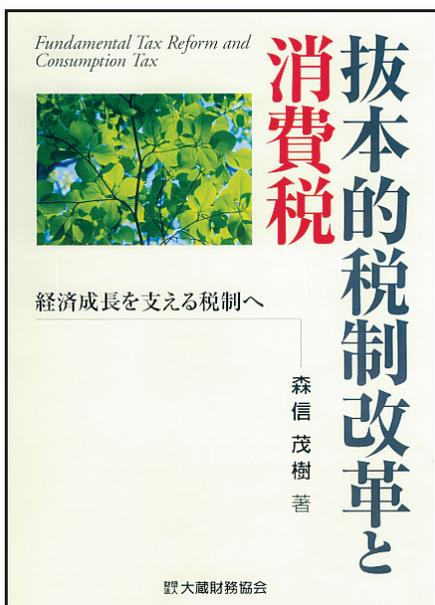
A5判 250ページ 定価2,000円(税込) 送料290円

今後、様々な場で議論されることとなるであろう、抜本的な税制改革と消費税率の引上げ。

本書では、消費税法の改正を柱に、現在の税制を抜本的に立て直すための改革案を、諸外国で実効を上げている税制改革の潮流を踏まえながら解説し、また、現在、政府税制調査会で議論されている「給付付き税額控除制度」の有効性についても論じる。

主な内容

- ◇抜本的税制改革のキーワードは、「公平」と「効率」。
- ◇日本ではあまり議論されていないが、消費税は経済効率に優れた税制。
- ◇低所得世帯の就労を促しつつ経済支援をする「給付付き税額控除制度」は、各国で高い効果を上げている世界の税制の潮流。
- ◇消費税率10%までは、軽減税率を導入しないほうが納税者の利益になる。
- ◇基礎年金は税方式、報酬比例部分は積立方式にしなければ、年金制度を持続することはできない。



発行

財団法人 大蔵財務協会

主な目次

はじめに 抜本的税制改革の必要性

- 1 少子高齢化のもとで経済成長と安心な社会をめざす税制を
- 2 「大きな政府」か「小さな政府」か
- 3 税は誰が負担するのか？
- 4 所得税・消費税・資産税のバランスを考える
- 5 不人気な一方で、期待の大きい消費税

第1章 税制改革の新たな潮流―「公平」と「効率」の両立

- 1 所得課税から消費課税にシフトする先進諸国
- 2 租税政策の変化の背景を探る

第2章 先進諸国の税制改革

- 1 欧州諸国の税制改革
- 2 アメリカにおける税制改革議論

第3章 消費課税の意義

- 1 一生の間に得た「所得」は、生涯をかけて「消費」する
- 2 なぜ消費税が必要なのか
- 3 消費税がもつ、さまざまな公平性
- 4 複雑な所得税、簡素な消費税
- 5 経済成長への悪影響が少ない消費税
- 6 消費課税の課題・反論
- 7 新たなタックス・ミックスへ

第4章 消費課税の3つの類型

- 1 3類型を基本に多くのバリエーションをもつ消費税
- 2 第1類型は付加価値税
- 3 第2類型は支出税・貯蓄非課税制度
- 4 第3類型はフラット・タックス、エクス・タックス

第5章 少子高齢化の中での日本の抜本的税制改革の視点

- 1 所得税による格差社会・少子高齢化への対応
- 2 相続税は課税最低限を下げ、幅広く課税
- 3 戦略的な実効税率引下げが必要な法人税改革

第6章 歳出・歳入一体改革と税負担増

- 1 日本の財政事情が抱える大きなリスク
- 2 歳出・歳入一体改革とは？
- 3 基礎的財政支出(プライマリーバランス)の黒字化とは？
- 4 具体性を欠く歳出・歳入一体改革
- 5 税負担増を考える時の選択肢の提示を

第7章 先進諸国にみる歳出・歳入一体改革

- 1 日本の財政赤字の原因はどこにあるのか

- 2 EU・米国の財政再建に学ぶ財政ルール的重要性
- 3 EU・米国から日本が学ぶべきこと

第8章 消費税導入の歴史

- 1 シャウブ税制を検証する
- 2 シャウブ税制の手直し
- 3 経済社会の変化から生じた問題点
- 4 消費税導入が解決したこと
- 5 消費税率を引き上げた平成6年度改正
- 6 透明性・信頼性を改善した平成15年度改正

第9章 消費税の基本構造

- 1 日本の消費税の基本的仕組み
- 2 課税対象と非課税取引
- 3 納税義務者は誰なのか
- 4 欧州のインボイスと日本の仕入税額控除制度
- 5 国境をまたぐ取引への対応
- 6 単一税率が軽減税率か
- 7 消費税の課税期間
- 8 中小事業者に対する特例措置

第10章 消費税引上げへの課題を探る

- 1 最大の問題は所得に対する負担割合―逆進性
- 2 益税問題には中小特例の見直しとインボイス導入
- 3 税率引上げのタイミングはいつか
- 4 社会保障目的税化することの是非
- 5 2009年国庫負担引上げの財源は消費税か
- 6 酒やタバコは二重課税？
- 7 住宅取得に課税すべきか
- 8 95%ルールとはなにか
- 9 消費税の捕脱

第11章 地方と消費税

- 1 地方消費税のしくみ
- 2 もうひとつの消費税―法人事業税(外形標準課税)
- 3 地方税における法人課税
- 4 国と地方間の税財源調整問題

第12章 年金問題と消費税

- 1 現行の年金制度が抱える問題点
- 2 基礎年金を税法式に

おわりに 抜本的税制改革の私案―多様な場で多様な議論を

- 1 抜本的税制改革の5本柱
- 2 抜本的税制改革の具体的私案

財団法人 **大蔵財務協会** 〒102-8335 東京都千代田区三番町30-2 TEL 03-3265-4141 FAX 03-3264-0524
URL <http://www.zaikyo.or.jp>

申込書にご記入いただく個人情報につきましては、お申込書籍の発送のほか、弊会刊行物等や催事のご案内に使用させていただく場合がございます。弊会個人情報保護方針につきましては、ホームページにてご確認ください。 0710

キリトリセン

申込書	抜本的税制改革と消費税		冊
	ご住所(〒 -) TEL () -		
	ご名称	ご担当者名	

お申込はTEL(03-3265-4141)FAX(03-3264-0524)または弊会ホームページ(<http://www.zaikyo.or.jp>)からもできます。